

南部地域整備基本計画の策定に先立つ説明会：議事録（要旨）⑩

日 時：平成20年8月25日（月）午後7時～午後8時55分

会 場：坂下集会所 2階集会室

参加者数：16名

主な意見

【基本計画について】

- ・昭和59年の計画は今も進行中と理解する。昭和59年の計画がどのくらい完了したのか？土地区画整理は進んでいるようだが、それ以外には何ができたのだろうか？市としての評価を聞きたい。都市計画道路は都市計画決定されているので実施しなければならないと思うが、25年が経過する中で、時代の変化とともに本当に必要なのかも含めて見直すのか？廃止の余地はあるのか？大きな道路ではなく狹隘道路を整備してほしい。矢川上、城山、天神下の都市計画公園をどうするのか？城山南の歴史環境保全地区をどうするのか？今回こうして労力を使って計画はできても予算がなくて実行できなかつたら責任はどうなるのか？実行するつもりがあるのか？計画を作るのであればやる気がないといけない。

市：一度に全てを実現できるわけではないので、優先順位についての検討が必要と考えている。昭和36年に指定された都市計画道路の全域での見直しの時期が到来すると考えており、その準備はしておかなければならないと考えている。今後、都全域で都市計画道路を見直す機会があった場合に、ここは要らないと手を挙げられる準備をすることはあってもよいと考えており、周辺地域との道路ネットワークの関係から都との協議が必要となるが、方向性は市が持っているものなので、ご意見をいただくことは今後につながると考えている。

都市計画マスタープランに示す以前からハケ上の都市計画道路は検討を要すという位置づけをしている。ハケ上道路整備として市道南第33号線で拡幅の予定があり、緑川上部道路については最近に整備した経過もある。

狹隘道路は、建築基準法に基づく道路中心から2mまでのセットバックの寄付は実施している。宅地内の不要な赤道を利用し付け替えるなどして拡幅を実施している。また、不要な赤道を売り払い基金に積んでいる。

都市計画公園は、現状では、城山公園の整備を優先しようと考えている。他の公園は、まだ具体的な話はないが、天神下公園も個人の土地で、具体的に検討できる時期ではないと考えており、見直すというまでではないが、現状でよいのか悪いのかは考えていく必要がある。

- ・市北部地域には駅舎の件などでお金をかけているが、南部にはお金をかけていない。
- ・南部を北部と同じようなまちにしても魅力がなくなると思う。南部には水田、水路、ハケの緑などの魅力の核があるので、歴史を大事にしたまちづくりを基本とし、生活し易い道路の整備などを兼ね備えたものとして考えてほしい。工場やホテルのまちとならないよう南部を真剣に考えないといけないと思う。農地を残せるような環境、体

制作り、そんな働きかけを行ってほしい。

- ・市民検討会は自治会からの推薦ということで考えているとの説明だが、自治会に入っていない市民もいるので、公募を考えても良いのではないか。

市：公募による採用を検討する。

- ・都市計画マスタープランとの整合はどの時点でどう図るのか？

市：都市計画マスタープランの評価は、現在実施中であり、平成22年度に完了予定があるので、この基本計画との整合は平成21年度の中で随時行っていく考えである。

- ・平成19年度の委託の成果はホームページや窓口で公開しているのか？

市：成果は今後公開する考えではあるが、市のホームページで公開するのかどうかは検討していく。

- ・どういう調査資料を基にこれから検討を進めていくのかを市民としても知りたいので、是非ホームページで公開してほしい。基本計画の策定を進めるにあたり積極的な情報公開に努めてほしい。

【道路整備について】

- ・谷保四丁目になる地区に住んでいるが、数年前、火災があり実際に消防車が入れないということがあった。安心して暮らすことができないので、切実に狹隘道路の整備を急いでほしい。優先して整備を行ってほしい。

- ・狹隘道路と都市計画道路の問題を道路ということで一括にしているが、狹隘道路はすぐにでも整備すべき問題であり、都市計画道路は10年以内に整備とのことなので次元が違うと思う。今後の進め方はどうなるのか？

市：平成18年度に今後10年以内に着手すべき路線として、南部地域では3路線が指定されている。一度に整備するのは難しいので優先順位や整備手法等を今後検討していく考えである。

- ・その検討は庁内での検討と市民の協力の中で行っていくのか？

市：そのとおりと考えている。

- ・狹隘道路は、確かに消防自動車が通れない状況にはあるが、単に道路を広げればよいということだけではない。子どもが通る狭い道を車が多く通行している状況もあり、後者は地元の人しかわからない。そういう住民の切実な要求を伝えるのはどの場面となるのか？

市：今日のような説明会等で聞いていきたい。

- ・去年の11月頃に日野バイパスの延長で東八道路までの区間の都市計画道路についての都の説明会では、計画幅員を当初の16mから広げる方向の話であった。

市：当該区間は、周辺に与える影響を考慮し幅員を広げる変更を行い決定したと聞いており、市としても支援する立場である。

- ・昭和59年の計画により完成したというところはどこか？道路の拡幅整備が一部進んだところはあるが、セットバックをしていない中で建っていると思われる建物もある。赤道が宅地内に入っているても何も言われていない。

市：これまでの事業評価は検討する必要があると考えている。赤道がある場合は、平成14年に各地権者に通知した経緯がある。

- ・説明によると、見直す位置づけの路線は1本だけで、他は優先順位が付いているだけという理解でよいのか？

市：東京都では実施していないが他県では実際に都市計画道路の見直しを実施したところもあるので、東京都でも今後同じような流れになる可能性はあると考えている。見直すには、例えば他の道路が整備されて当該道路の必要性がなくなったというような理由が必要にはなるとは考えているが、市民の皆さんと十分に意見交換していくことが必要と考えている。

- ・課題である狭隘道路箇所は、市で把握しているのか？また把握しているのであれば優先順位をつけてほしい。若干広がったところが知っている限り1、2箇所くらいしかないように思う。

市：狭隘道路整備は確かに進んでこなかった現実はあるが、今後、検討会で費用面も考え効果がありそうな路線を検討していきたい。

- ・事故が多いところ等も視野に入れてほしい。
- ・甲州街道の歩道が狭いことを市はどう考えているのか？

市：日野バイパスが整備され甲州街道の交通量が減ったことを踏まえ、現在まで都と2回の協議を行った。本日、市長と議長で東京都に対して要望書を提出しに行った。6月定例会で車道2車線化を要望するという内容の陳情が出され、全会一致で採択された。

- ・2車線化となると車線の幅はどうなるのか？

市：東京都としてはまだ具体的な計画は持っていないので、2車線にするのか、車線の幅を幾つにするのかまではまだ分からない状況であり、歩道を優先とし車線を今後検討していくことになろうがまだ時間がかかると思う。東京都は、交通量が減ったら甲州街道を2車線化すると公表した経緯があるが、東京都の見解としては、現状の交通量ではまだ難しいと聞いている。

【コミュニティバスについて】

- ・コミュニティバスは、矢川駅や国立駅には運行しているが谷保駅は運行されていないので今後の導入計画はどうなっているのか？

市：総務部が担当している。谷保周辺は道路が狭いということがあり、今後道路が広がるなどすれば運行の可能性はあると想定するが、現在のところ運行の予定はないようである。

- ・コミュニティバス路線を引く基準は、道路の幅員も関係すると思う。この地域は利用者が少ない状況にもあるが、不便な地域であるので、運行してほしい。どのようなバス路線選定の考え方をしているのか？

市：担当は総務部になるが、路線選定の基準は、基本的には不便地域の解消ということと既存の路線バス経路のないところや安全性等の要素があると思う。現在の経路が

最終形ということではなく、ルートの見直しは常に考えていると聞いている。

- ・南部地域は交通の便が問題と思う。年寄りと子どもは坂を上げるのが大変だ。コミュニティバスの説明会でこの周辺にバスを通してほしいと要望したが、道が狭いので無理との回答であった。それならば道路を拡げることを実行してほしい。バスを通そうという市の意思が見えない。

以上